

西部公民館だより

発行 西部公民館
神ノ郷町吉町田12-1
TEL:68-7233

6月実績と7月計画

日程	事業名称	実績	備考
6/7(水)	すこやか講座(2) 健康教室	済	
6/12(月)	すこやか講座(3) 社会見学	済	
6/28(水)	すこやか講座(4) どうする家康の話		
7/12(水)	すこやか講座(5) 交通・防犯教室		

ひじり会総会開催

5月26日(金)午後1時30分より令和5年度ひじり会総会を4年ぶりに開催しました。令和元年から4年までコロナ禍の為にひじり会の活動も大幅な制限を受ける中で総会も開催できずに3年が経過しましたが本年は開催することができました。杉浦会長の開会の言葉に始まり、令和4年度の事業報告、会計報告、人事異動報告、来賓挨拶と進み最後は若本 やよいさんの『一人芝居』を会員の皆さん一同楽しんでみえました。



【総会の様子】



【一人芝居鑑賞の様子】

琴、将棋等クラブ・サークル新規参加者募集中



琴クラブ：毎週火曜日午後1時30分より練習用琴も常備しておりますので、琴を所持していなくても参加することができます。月謝は1,500円です。興味のある方は公民館まで問合せ下さい。

本年も昨年に引き続き5月から7月の3ヶ月間の第2、第4金曜日 午後4時から小学生対象の囲碁・将棋教室を開催しています。初めての子でも参加できます。都合が合えば申込み無で公民館まで来てくれれば参加できます。



すこやか講座(2) 健康教室 睡眠と健康

・今回は睡眠と健康をテーマに明治安田生命の健活プロジェクトを活用させて頂きセミナーを開催しました。当日は血管年齢測定器による血管年齢を測定してもらい、皆さん結果に一喜一憂してみえました。



【血管年齢測定中】

今回はセミナーの中のクイズを皆さんにも出してみます。

- ①眠れないときに、羊を数えると眠れるようになる？
- ②靴下をはいて寝るとよく眠れる？
- ③豆電球をつけて眠ると良い？
- ④夢を見るのは眠りが浅いので良くない？
- ⑤睡眠のゴールデンタイムは2時～2時なので、その時間帯には眠っていた方が良い。

正解①× ②× ③× ④× ⑤×

疑問のある方は、公民館にテキストがあるので見に来て下さい。



すこやか講座(3) 社会見学 お田鶴の方の足跡をたどる

6月12日(月)公民館社会見学を開催しました。当日は梅雨らしい小雨の中、今回は前年度の『どうする家康』ゆかりの地巡りに続き『お田鶴の方の足跡をたどる』をテーマにしたコースで構成しました。

コースは西部公民館⇒舞阪堀江商店⇒浜松まつり会館⇒浜松城・曳馬古城址・椿観音(ホテルにてランチバイキング) 自由散策⇒浜松八幡宮⇒三方ヶ原戦跡⇒浜名湖グルメパーク⇒西部公民館の順に巡ってきました。



【便の展示】



【御殿屋台展示】

浜松まつりの由来は450年ほど前に当時一帯を治めていた曳馬城主に長男が誕生したことを城下の民が祝って風揚げを始めたことが始まりと言われています。(諸説あり) その時の奥方はお田鶴でありました。現在の浜松祭りの風揚げにつながっています。



【椿姫観音】

・現在の浜松城から1.5km程東の位置に椿姫観音大菩薩の小祠があります。この周辺にお田鶴の方と侍女18名を含む戦死者の遺骸が埋葬され沢山の椿が植えられたそうです。



【浜松八幡宮】

家康が三方ヶ原の戦いで信玄に大敗を喫し敗走したときに本八幡宮に逃れ社前の楠の洞穴に潜み、武田勢の搜索を逃れたとされ、その際この楠より瑞雲が立上ったことから、以後「雲立の楠」と呼ぶようになった。家康が隠れてから450年以上経過していますが、当時と変わらず、社前にどっしりと構えています。



【雲立の楠】

舞台劇《鵜殿氏 落日の彼方に》準備開始

本公演は蒲郡市【令和5年度地域文化財総合活用推進事業】の一環として、神ノ郷町、西部小学校、中部中学校、蒲郡市観光協会及び関係各位のご協力のもと実現したものです。

【嘗て蒲郡の中心部を治めていた鵜殿氏の歴史を中部中生徒を中心に舞台劇の形で公演します】

日時：令和5年8月26日(土) 13:00開場 14:00開演

場所：蒲郡市民会館中ホール（入場無料（自由席））



6月3日(土)第一回実行委員会を開催。関係者が一堂に会し舞台劇の構成・脚本の説明や学校・関係団体の連携協力の確認、生徒の配役決め等を行いました。



6月11日(日)鵜殿一族慰霊碑が祀られる正行院にて舞台劇成功祈願の会を関係者にて執り行いました。
・慰霊への黙とう、挨拶、出演者宣言(中学生)、範読、神ノ郷小唄の披露を実施。
当日はケーブルテレビ、蒲郡新聞の方も見えて取材してみえました。

【範読を行う中部中生徒】



【ポスター】

蒲郡市立ソフィア看護専門学校学生来館

6月13日(火)ソフィアの学生5名の方が来館されました。
【目的】地域に暮らす人々の暮らしを知り、看護をする人を生活者として捉えることの重要性を理解すること。
上記目的の中で地区の歴史や出来事などの話を聞くこともスケジュールされており、公民館と赤日子神社でその対応を行いました。公民館では主に鵜殿氏の歴史を館長より説明して頂きました。



夏の交通安全県民運動が開催されます

開催時期：2023年7月11日(火)～20日(木)10日間

◆今年の「夏の交通安全県民運動」の重点実施事項は次のとおりです。

- ①子供と高齢者を始めとする歩行者の安全の確保と保護意識の醸成
- ②運転者の安全運転意識の向上および飲酒運転等の根絶
- ③自転車のヘルメット着用と交通ルールの徹底



聖の雨乞い行事

令和5年も梅雨の時期に入りました。今年は梅雨入り早々台風の影響もあり大雨が降り、現時点では水不足の心配はありませんが、昭和19年までは水不足になると雨乞いがおこなわれていました。その様子がひじりの里神ノ郷史話に記載されていますので転載します。

・山浅く水源に乏しい当地では、今年稀な暑さに雨量が少なく稲作にとってはまさに大恐慌、八月に入ってからというもの、農村では朝に夕に大空を見つめ一寸した雲にも一縷の望みを賭けて来たが、いよいよ人力も尽き果て稲も生死の岐路に立った。ここに古老の言葉により雨乞祈願御神火送りをする事になった。

丁度、私が国民学校講習を修了帰郷した翌夕お山登りだ。私にとっては生まれて初めて会った御神火送り、幸いにもこの模様を記録することができた。

当地は蒲郡町神ノ郷といい、太古は赤孫之郷といい県社赤日子神社がその氏神様である。

この雨乞い行事は先ず、神前において氏子総代が御神火を作るのである。

禊をした数人が長さ三尺、幅一尺、厚さ一寸の古い桧材に、一尺位の枯れた女竹を持って揉みこむのだ。段々くぼむ、肩が熱の為にぶずぶずえぶる。

ここにガマの穂をやると火がつく。なかなかの業で三人がかりで一時間位はかかる。

やっと得た火を神前に供える。又一方では神社の巽にあるオミタラヒ(清水がでて小さい池をなす)

で雌雄一匹のタニシを手槽にいれてくる。これでお山登りの用意はできた。

夕方を待って村人は松明を作って集まる。この松明とは長さ二間程表程・萱などを枯竹で包んだもので、昔はミノカサでお山登りをしたそうだ。

このお山というのは氏神の戌亥聖山で登山口を毘沙門口と呼んでいる。御神火を松明に点火した村人は夕闇を勇ましく登り始める。火の行列約15町程登ると天の磐座がある。この広前に奉燈して天を焼く。この磐座のくぼみにタニシを逃がし、御神酒をお供えて祈願する。

実に壮観という筆舌につきぬものがある。

この磐座に皿程のくぼみがあるところから俗にお皿さまといって、こんな伝説がある。このお皿さまにはいつも水が満ちていたが、ある時、村の童子がこの岩に登り他童の止めるのもきかず小便をひっかけた。すると不思議やくぼみにひびが入ってみるみる水がしみこんでしまった。

童子たちは恐れをなして逃げ去った。以後このお皿さまには水の満つことがない。

下山した村人は氏神様に帰って来て拝願に参籠する。この行事は祈願の初日と七日目に行われるのである。この間には、きつと霊験があるといわれている。

・このような雨乞いの神事は豊かな実りを願い、昔の人々は必死の思いで執り行ったことでしょう。しかし太平洋戦争終結とともに人々の考えも変わり、このような神事も全国的に行われなくなり、各地には忘れ去られてしまった雨乞いの為の御神体は幾多あるとされています。更に当地を含め用水が張りめぐらされコックをひねればきれいな水が手に入る時代ですが、昔に思いを馳、感謝の気持ちで水を大切に使いましょう。



【お皿さま】

ぐるりんバス情報

西部地区支線バス「みかんの丘ぐるりんバス」5月乗車人数報告

5月の乗車人数は合計176人でした。1便当たり平均乗車人数は1.5人です。

みかんの丘ぐるりんバスの車内で、12枚つづり1,000円のお得な回数券を販売しています。回数券は市内5地区のぐるりんバスで使うことができます。バスが安全に駐車しているときにご購入ください。